

第9回「狭山市民芸術祭」を終えて

実行委員長 諸口 高男

第9回「狭山市民芸術祭」が実行委員はじめ文団連会員の皆様、並びに共催していただきました狭山市民会館、お手伝いいただきました西武文理高等学校・演劇部のご協力により、和やかな雰囲気で大成功のうちに終了できましたことに、厚く御礼申し上げます。

7回の実行委員会を数えるなかで、各委員会、実行委員会の一人一人が与えられた役割を十分認識され、横の連絡・連携をはかれた文団連の組織のすばらしさに感銘いたしました次第でもありました。

懸念された観客動員につきましても「ジュレップス」の11月30日前後の近隣での公演、短時間の公演等を考慮すれば、800人からの来場は立派であったと思います。

今回は、市民会館の改修工事にともない2日間の舞台公演と「青少年文化体験フェスタ」の写真展示でありましたが、「狭山市民芸術祭」を通して、今後ますます文化団体の交流が深まり、市民と連携した市民文化の向上がはかられますよう御祈念申し上げます。



----- さやま ・ 文化の息吹 -----

「花咲会」と平和への願い

平和への願いは人類共通です。私たちは、戦争や無差別に命を奪うことのない世界をめざすためにも、手足を楽しく動かして表現し、人々に伝える「エンジョイダンス」として活動している会です。

沖縄や広島・長崎が戦争で命や家族が犠牲にさらされたようなことは、二度あってはならない。民族が平和に暮らす時、手をつなぎ、その地の風土に沿った踊りや歌を表現してきたことは、後々の人々にも受け継がれるべき文化だと思えます。

このことを未来へのメッセージとして伝えたり、ボランティア活動として、エンジョイしながら踊りで表現して、多くの人々にその価値を伝える意義は大きい。

踊りと一緒に共通の願いを共有できる表現を練習しているメンバーは、お互いに励ましあい、市民との触れ合いや祭り、発表、「市民芸術祭」などで目標を持って参加しています。

犠牲者への献花に留まらず、将来の人の幸せと平和への花を捧げるために、皆さんもぜひご参加ください。

「花咲会」会員 崎元 香苗

- ・練習日：第1・3(火) 19時～21時 中央公民館
- 第2・4(水) 10時～12時 中央公民館
- ・問合せ：佐久間 電話：2952-7778

